

色選択

リストから色を選択します。

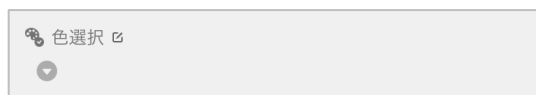
基本情報

カテゴリー	選択
利用できるプラン	Standard, Premium, Enterprise

アプリ

初期画面

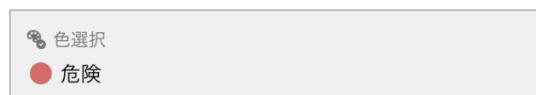
タップすると選択リスト画面が表示されます。



選択リスト画面



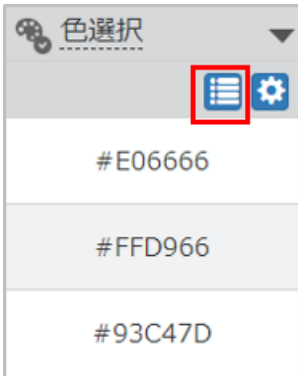
表示画面



Platio Studio

値の編集

選択するリストを作成します。値の編集アイコンをクリックします。

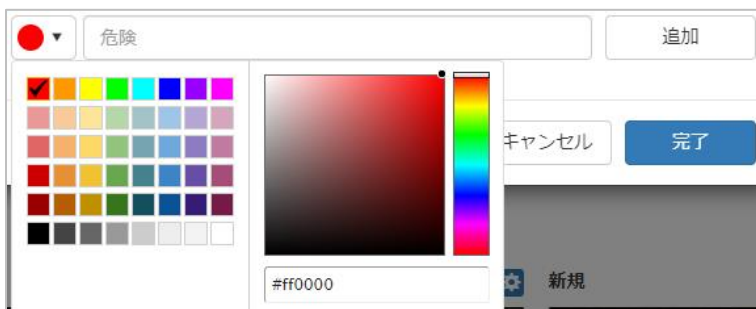


「値の編集」画面が表示されます。あらかじめ3つの値が設定されているので、それを編集するか、または削除して最初から追加し直します。



新しく追加するには、色を選択してラベルを入力し、「追加」をクリックします。色はクリックして、パレットから選択するか、色コードで指定します。ラベルは入力必須で、32文字以下で入力します。

色コードは、色選択画面で色の上をマウスオーバーして確認することもできます。



一括登録

色コードとラベルを CSV 形式のファイルで用意してインポートすると、一括で登録することができます。「値の編集」画面で「インポート」をクリックすると「値のインポート」画面が表示されます。CSV 形式の例を参考にしてあらかじめ CSV ファイルを作成してください。インポートすると、登録済みの項目がすべて削除されるので注意してください。

値のインポート

csv形式のファイルをインポートすることができます。インポート可能なファイルの最大サイズは1MBです。**現在の値は、全て削除されますのでご注意ください。**

例

```
"#2CCDFF", "ラベル1"  
"#8202E8", "ラベル2"  
"#80424D", "ラベル3"  
"#779446", "ラベル4"  
"#AB46C4", "ラベル5"
```

インポートするファイル

エンコーディング

基本プロパティ

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf

値の重複を許さない (※)	データポケットの入力・編集シーンで入力するときに、同じデータポケット内で既に入力された値のとの重複を許すかどうかを指定します。(副データポケットを含む)
必須 (※)	データポケットの入力シーンで入力するときに、入力を必須にするかどうかを指定します。
初期値 (※)	データポケットの入力シーンで入力するときに初期値が入力されているようにする場合に、初期値を設定します。

高度なプロパティ

「高度なプロパティを表示」をクリックしたときに表示されます。表示した後、隠すには「高度なプロパティを隠す」をクリックします。

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf

初期値 (※)	データポケットの入力シーンで入力するときに初期値が入力されているようにする場合に、初期値を設定します。
説明 (※)	データポケットの入力・編集シーンで、フィールド名の下に表示する説明を記述します。
色 (※)	データポケットのレコード入力・表示・編集画面と一覧画面で、フィールドの表示文字の色を指定します。
背景色 (※)	データポケットのレコード入力・表示・編集画面と一覧画面で、フィールドの背景色を指定します。
条件付き表示 (※)	データポケットの入力・編集シーンで、フィールドを表示する条件を指定します。